資料１

議題１　特別職車両の購入時の選定基準について（一宮市提出）

市名	回答			
	(1)特別職車両の保有台数	車種・主に利用する役職者	(2)購入時期	選定理由
名古屋市	６台 ※すべてリース	①トヨタノア・市長 ②トヨタミライ・副市長２名（計2台） ③トヨタプリウス・副市長１名 ④トヨタアルファード・議長 ⑤トヨタエスティマ・副議長	①令和６年４月 ②令和４年１月 ③令和４年12月 ④令和３年９月 ⑤平成２８年４月	①移動中や視察時に職員が同乗して打ち合わせや説明を行う必要等があったため。 ②③本市環境局の基本方針において電気、水素等の石油代替エネルギーの利用にも配慮することとされていたため。 ④、⑤居住性、安全性等を勘案し、当時の現行車種と同じ車種とした。
豊橋市	４台	①トヨタヴェルファイア・市長 ②トヨタエスティマ・副市長 ③トヨタアルファード・議長 ④トヨタクラウン・教育長	①令和5年10月リース契約（60月） ②平成24年3月 ③令和6年11月リース契約（60月） ④平成25年4月	①市長が乗り降りのしやすさ、広い空間と安全性を希望、中核市の首長４割強が本車種を利用していたため。 ②明確な選定理由は不明だか、元々、他部局が使用していたものを、副市長への必要性と広い空間等を考慮し、移管したと思われる。 ③充実した安全装備を搭載しており、次の公務への移動・準備も快適に行える車内空間も確保できていることや、他市の状況も考慮して選定。 ④元々、議長車として使用していた車で、それが交換時期とのことだったため、令和6年11月に譲り受けたもので、特に選定理由はない。
岡崎市	４台	①トヨタ　アルファードHEV・市長 ②トヨタ　アルファードHEV・議長 ③三菱　アウトランダーPHEV・副市長 ④三菱　アウトランダーPHEV・教育長	①令和７年10月 ②令和７年10月 ③令和４年８月 ④令和２年８月	（直近の市長車の購入の選定理由） ・運転者の安全運転をサポートする先進の安全性能を備えていること。 ・車内での公務等がしやすく、また、多くの荷物や人を運べる居住性能、利便性等を備えていること。 ・環境性能の観点から、次世代自動車であること。
一宮市	４台	①トヨタアルファード・市長 ②トヨタクラウン・副市長 ③トヨタアルファード・議長 ④トヨタプリウスＺ・教育長	①平成28年10月 ②平成27年6月 ③令和3年10月 ④令和6年7月	①購入当時の選定理由の資料がないため不明。 ②購入当時の選定理由の資料がないため不明。 ③車内の広さやシートの快適さによる利便性と市長車としてすでに実績があり、同じ車種が適切であるため。 ④他特別職車両はすべてハイブリッド車を使用しており、利便性や環境に配慮したハイブリッド車であることを考慮したため。
瀬戸市	２台	①トヨタアルファード・市長 ②トヨタプリウス・副市長	①平成２８年１０月 ②平成２９年８月	①②ともに ・特別職車両にふさわしい車種 ・安全面 ・環境性能
半田市	３台	①トヨタヴォクシー・市長、副市長 ②トヨタプリウス・市長、副市長 ③トヨタクラウン・議長、副議長	①令和06年04月（ヴォクシー） ②平成27年10月（プリウス） ③令和01年09月（クラウン）	①室内空間が広く、移動中の事務作業及び移動先の公務内容に合わせた着替え等が容易にできるミニバンタイプのため。 ②環境性能において優れているため。 ③移動中の事務作業が容易にでき、安全に送迎できるため。また、環境性能において優れているため。
春日井市	４台	①トヨタアルファード・市長（リース） ②トヨタ・クラウン・副市長 ③トヨタ・クラウン・副市長 ④トヨタアルファードＨＶ　Executive Lounge・議長、副議長（リース）	①リース期間：令和6年8月2日～令和11年8月1日 ②H18.3.20 ③H19.3.20 ④リース：令和元年10月1日から60か月 　再リース：令和６年10月１日から24か月	①多用途に使用できること。環境負荷の低減に配慮した車両であること。 ②③購入時期に近隣市町にヒアリングした結果と見込まれる。 ④（令和元年リース契約時） ・色合い、デザイン共に華美で無く、落ち着いた雰囲気で、居住性に優れ、長距離移動でも乗車する者の負担が軽減される車種であるため。 ・県内他市で選考車種を公用車(議長車)として採用しているため。 ・故障する頻度が少なく安全性が確保される性能を有し、一般利用と異なる不測の事態に備えることが出来る車種であるため。 ・環境に配慮した車種であるため。 （R6再リース契約時） ・現在使用している議長車につき、走行距離18,201km（令和６年５月末時点）と、契約当初の想定（12,000km/年）よりも短いため、今後の使用にも十分耐えられるため。 ・令和６年６月現在、車両の入手が困難であるため、現在の議長車と同じ車種であるアルファードの新規借上ができない状況であるため。 ・入手可能な車種を新規借上することにより、議長車に求められる要件（例：長距離移動でも、議長やその来客を含めた乗車する者の負担が軽減される点など）を満たせなくなる可能性もあることから、現在の車両を引き続き使用したほうがよいと判断するもの。 ・EV化等の車両の技術進歩が著しい状況にあり、今後の議長車に求められる要件が変化することも可能性としては想定されるため、賃貸借期間を従来よりも短くする。その一方、事務処理の手間や車検期間も考慮したほうがよいとも考え、今回の賃貸借期間を24か月とする。

議題１　特別職車両の購入時の選定基準について（一宮市提出）

市名	回答			
	(1)特別職車両の保有台数	車種・主に利用する役職者	(2)購入時期	選定理由
豊　川　市	３台	①トヨタクラウン・市長 ②トヨタクラウン・副市長 ③トヨタクラウン・議長	①令和６年１０月 ②令和２年３月 ③平成２９年７月	明確な基準はありません。
津　島　市	２台	①トヨタ　RAV-4　PHV・市長 ②トヨタ　プリウス PHV・議長	①令和４年４月 ②平成24年10月	①、②共に寄附採納による取得のため選定理由無し。
碧　南　市	３台	①トヨタ　ミライ・市長、議長 ②トヨタ　クラウン・副市長	①令和５年５月（５年リース） ②平成２７年５月	①環境配慮 ②不明
刈　谷　市	５台	①アルファード（リース車両）・市長 ②アルファード（リース車両）・議長 ③ヴェルファイア・副市長 ④クラウン・副市長 ⑤クラウン・教育長	①令和７年６月～ ②令和７年６月～ ③令和７年１０月 ④平成３０年１１月 ⑤平成２３年１０月	①②③④⑤ 　車両の安全性や、移動中も公務を行うことによる身体負担の軽減、快適性、市を代表する立場や職責など総合的に判断して専用車の車種を決定してきたが、セダンタイプの車両に比べて車内空間や乗車人数の確保など利便性を考慮し、令和７年度更新の際は大型ワンボックス車両を採用した。
豊　田　市	２台	①レクサスＬＳ・市長・副市長 ②トヨタアルファード・市長・副市長	①令和６年３月（購入） ②令和４年２月（リース）	市民の代表としての格式を備え、市民の理解が得られるものであると同時に、知事や他都市の公用車とのバランスも考慮したものである。
安　城　市	３台	①トヨタ　アルファード・市長 ②トヨタ　クラウンセダン（FCEV）・副市長 ③トヨタ　エスティマ・正副議長	①令和6年7月 ②令和7年10月 ③平成27年2月	①庁外で開催される会議等に出席する機会が多く、移動が長距離となることから、長時間の移動による負担軽減や安全性を考慮した。 ②市の総合計画「環境に関する施策」の取組として、脱炭素社会の推進を掲げており、次世代自動車の導入等の市民や事業者の温室効果ガス削減に対する取組を支援することとしている。その中で、市が使用する車を次世代自動車とすることで、市民への次世代自動車普及のＰＲを図るため。 ③行政調査等に活用範囲を拡大するため、７人乗りワゴン系の車種を希望し、長時間の移動による負担軽減や安全性を考慮した。
西　尾　市	３台	①クラウンマジェスタ　ハイブリッド ・市長、副市長、議長 ②アルファード４WD　ハイブリッド ・市長、副市長、議長 ③RAV4　PHV・教育長	①平成28年11月 ②令和6年8月 ③令和6年7月	①市長の意向及び環境車両（燃費基準達成車両） ②市長の意向及び環境車両（燃費基準達成車両） ③教育長の意向及び環境車両（プラグインハイブリット車）
蒲　郡　市	４台	①市長車　トヨタクラウンＨＶ ②副市長車　三菱アウトランダーＰＨＥＶ ③議長車　トヨタクラウンＨＶ ④教育長車　三菱アウトランダーＰＨＥＶ	①市長車　令和元年９月 ②副市長車　令和６年５月 ③議長車　平成２８年１０月 ④教育長車　平成２７年５月	①市長車　前回と同等モデル ②副市長車　寄贈車 ③議長車　前回と同等モデル ④教育長車　副市長車が寄贈されたときに旧副市長車を渡した。
犬　山　市	２台	①日産　リーフ　市長 ②トヨタ　ヴォクシー　議長	①令和3年11月 ②平成30年11月	①購入ではなく寄附で取得したもの。市長の意向で市長車として使用。 ②大人数での移動にも対応可能なようにミニバンタイプの車を購入するよう議事課より要望があり、排気量と価格のバランスから検討し選定
常　滑　市	２台	①トヨタエスクァイア・市長 ②トヨタノア・議長	①令和３年１月 ②令和３年１月	①土地区画整理組合からの寄付 ②土地区画整理組合からの寄付
江　南　市	２台	①トヨタクラウン・市長、副市長 ②トヨタエスティマ・議長	①平成20年６月 ②平成23年12月	①トヨタ車かつハイブリッド車であり、品位があること。 ②トヨタ車かつ視察等へ複数名で移動ができ、品位があること。
小　牧　市	３台	①トヨタアルファード・市長 ②トヨタクラウン・副市長 ③トヨタアルファード・議長	①令和２年７月 ②平成２２年６月 ③令和２年７月	①環境配慮の観点からハイブリッド車を購入 ②環境配慮の観点からハイブリッド車を購入 ③環境配慮の観点からハイブリッド車を購入
稲　沢　市	３台	①MIRAI　市長 ②カムリ　副市長 ③アルファード　議長	①平成27年9月 ②平成25年11月 ③令和7年9月	（①②③共通） 財政課にて過去に利用していた車種から何種か候補を挙げたのち、利用者に選定していただく。
新　城　市	２台	①トヨタアルファード・市長 ②レクサスＨＳ２５０ｈ・議長	①令和３年３月 ②平成２２年１２月	①セダンと比べた実用性（移動時に着替えができるなど） ②燃費・維持管理のしやすさ（故障が少ないなど）（購入当時）
東　海　市	３台	①トヨタクラウン（市長車） ②トヨタプリウス（市長車） ③トヨタアルファード（議長車）	①平成22年6月 ②平成28年8月 ③令和7年10月 （リース）	①機能性及び他市の状況を踏まえ選定 ②同上 ③同上

議題１　特別職車両の購入時の選定基準について（一宮市提出）

市名	回答			
	(1)特別職車両の保有台数	車種・主に利用する役職者	(2)購入時期	選定理由
大　府　市	４台	①トヨタ　RAV4 PHV　市長 ②トヨタ　MIRAI　市長・副市長 ③トヨタ　アルファード　議長 ④トヨタ　プリウス　教育長	①R３．３ ②H２８．５ ③H２８．５ ④H２２．３	特になし
知　多　市	３台	①トヨタノア・市長 ②トヨタノア・議長 ③トヨタMIRAI・副市長	①令和８年２月 ②令和８年２月 ③平成２８年４月	①他市の事例を参考にして、市長車を管理する部署が選定。 ②他市の事例を参考にして、議長車を管理する部署が選定。 ③近隣市と併せて、環境に配慮した車を市長車を管理する部署が選定。
知　立　市	３台	①トヨタアルファード・市長 ②トヨタプリウスPHV・副市長 ③トヨタクラウンハイブリッドロイヤルサルーン・議長	①令和３年１２月（リース） ②平成２９年８月 ③平成２９年３月	①市長の来客対応等において、来客を同乗いただく場合があり、一定の乗車スペースを確保できる車両が必要であったため。 ②環境性能に優れ、電気とガソリンの双方を利用できることから、災害時においても燃料確保の面で優位性があると考えられたため。 ③明確な選定基準はありませんが、当時の各派代表者会議にて車種について話し合われ決定しました。
尾張旭市	２台	①トヨタアルファード・市長 ②日産セレナ・議長、副市長、副議長、教育長	①令和７年１０月 ②令和８年７月下旬納車予定	①対外的な印象、環境性能・安全性能 ②対外的な印象、環境性能・安全性能
高　浜　市	２台	①トヨタ　プリウスPHV・市長、副市長、議長 ②トヨタ　プリウス・教育長	①令和3年2月 ②令和2年6月	①当時の市長の意向である、できるだけ安価で災害時にも電力供給可能な車両ということで、プラグインハイブリット車である当該車両を選定 ②ハイブリッド自動車を前提に検討し選定
岩　倉　市	２台	①トヨタアルファードHV・市長 ②トヨタクラウン・議長、副議長、副市長	①令和3年12月 ②平成17年６月	①公務使用に適した車両として選定 ②公務使用に適した車両として選定
豊　明　市	２台	①トヨタ　ノア　議長 ②トヨタ　ノア　市長、副市長	①令和３年７月 ②平成２９年５月	①②ともに高価過ぎず一定の積載量や乗車スペースの広さを見込めるため。
日　進　市	１台	トヨタアルファード・市長、議長	令和８年３月から５年間リース	他の自治体で多くの採用実績があるため
田　原　市	２台	①レクサスLM・市長 ②レクサスLS・議長	①令和７年１２月 ②令和６年９月	①②安全性・快適性・機能性を重視し、かつトヨタ自動車田原工場で生産している車両を選定
愛　西　市	２台	①トヨタクラウン・市長、副市長 ②トヨタアルファード・議長	①平成26年7月 ②平成30年１０月	①本車両の選定にあたっては、優れた環境性能と安全性能を重視しております。これに加え、長期間の運用における維持管理コスト等の経済性を総合的に評価し、公用車としての適格性を判断いたしました。 ②広い車内と安定した乗り心地のため、車内での業務の効率性や安全性などを考慮した結果選定した。
清　須　市	３台	①トヨタ　クラウン・市長 ②トヨタ　アルファード・議長 ③トヨタ　アルファード・副市長	①②③令和３年９月～令和８年９月（リース）	①②③以前リースしていた車両と同等の車両であるため。
北名古屋市	２台	①トヨタクラウン・市長 ②トヨタクラウン・議長	新規購入は未定。 現在の車両は2台とも平成29年6月にリースアップ後に購入した。	安全性能、環境性能、維持管理コスト、信頼性及び公務利用に必要な快適性を総合的に評価した結果、トヨタクラウンが適性であると判断し、選定した。
弥　富　市	０台	市長及び議長が主に利用する車両はあるが、２台ともリース車		
みよし市	３台	①トヨタクラウンマジェスタ　市長 ②トヨタアルファード　市長、副市長、議長、教育長 ③トヨタカムリ　教育長	①平成27年7月 ②令和6年5月 ③平成24年6月	①セダン、価格 ②特別職用車両を集約、価格、乗車人数 ③セダン、価格
あ　ま　市	２台	①トヨタアルファード・市長 ②トヨタノア・議長	①平成２９年１月 ②令和５年３月	①市長車としての品格を有する車両であると判断したため。 ②従前の車両の老朽化による廃車に伴い、共用車両を特別職車両に転用した。
長久手市	１台	トヨタノア　市長車	令和８年６月 （リース）	乗員数がある程度確保出来る車両であり、更新前の機種と同等な車両